

2021年 市民自然環境調査

みづかな季節かんじ隊

調査結果報告書（ヒガンバナ）



光が丘町 光が丘2号公園



総社町植野 遊歩道



上泉町 上泉地区の田んぼ

目 次

1 調査の目的	5 調査地点
2 調査の内容	6 参加者の声・写真
3 調査の結果	7 参考資料
4 調査データ	8 事務局より



1 調査の目的

環境基本計画が位置づける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために、次世代を担うこども達をはじめ広く市民に対して自然環境調査を実施しています。身近な生物を通じて自然に触れ、継続して調査をすることによって前橋市域の自然環境やその変化を知り、環境保全に対する意識啓発を図ることを目的にヒガンバナの調査を実施しました。

2 調査の内容

調査の対象は、私たちが身近な自然として感じられることや、調査対象が市内各所にあることを勘案し、「ヒガンバナ」としました。

(1) 調査の方法

- ①調査に参加する方を募集します。（調査に参加する方を「隊員」といいます。）
- ②隊員は、調査するヒガンバナを決め、調査を行います。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出します。

(2) 調査の概要

テーマ	調査内容	調査期間
ヒガンバナの調査	開花日	9月1日（水）～9月30日（木）

3 調査の結果

ヒガンバナ

- ・調査隊員数：35名
- ・調査地点数：36地点
- ・開花日：8月26日～9月20日
- ・平均開花日：9月11日



〈参考〉前橋地方気象台の観測データ

観測	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2
初見日	9月14日	9月20日	9月11日	9月14日	9月25日	9月28日
平年差	+1	+7	-2	+1	+12	+15
昨年差	+2	+6	-9	+3	+11	+3

平年差（昨年差）が、正の数の場合「平年（昨年）より遅い日数」、負の数場合は、「平年（昨年）より早い日数」を示しています。

4 調査データ

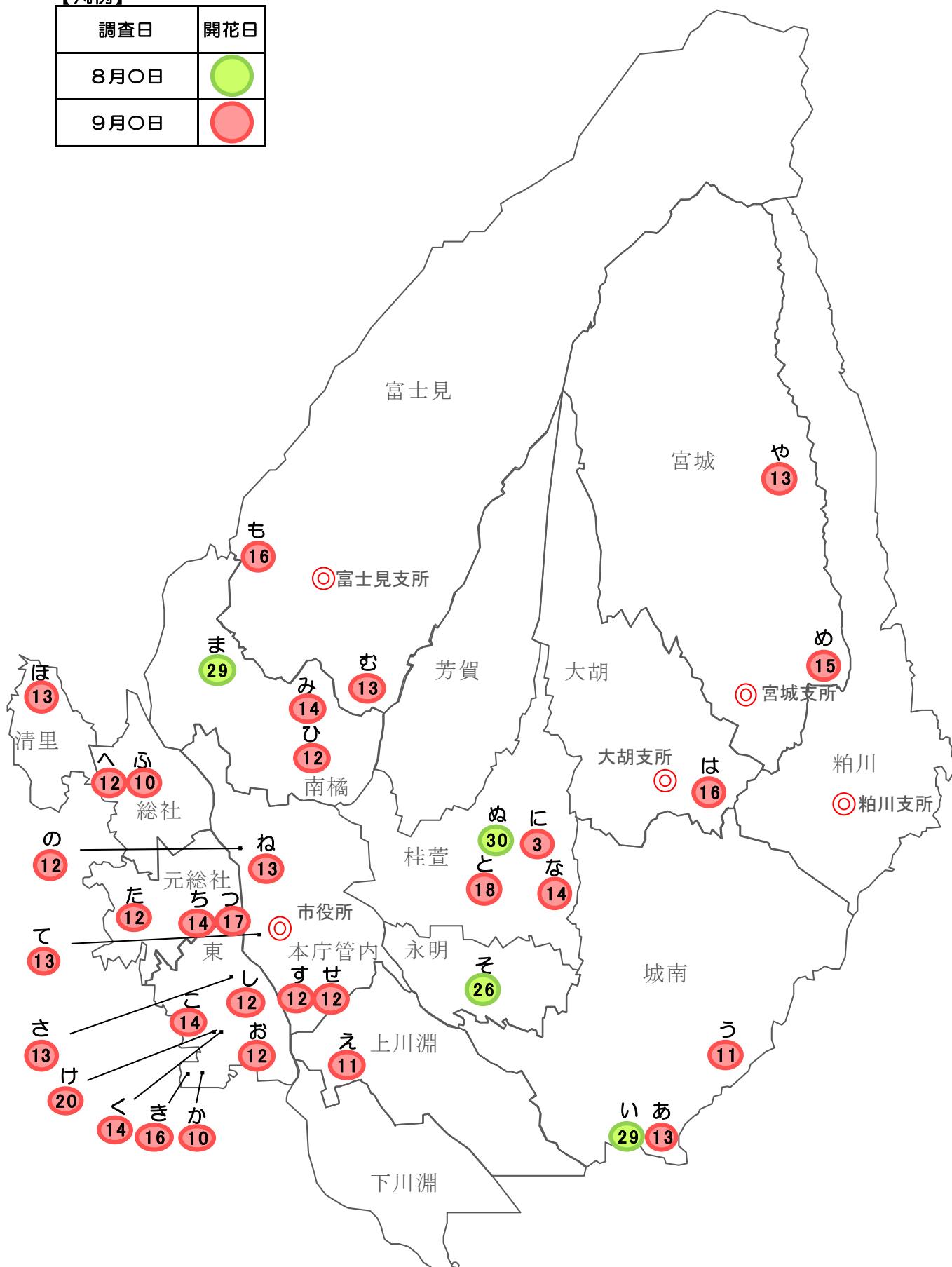
調 査 結 果 集 計 表

番号			調査場所		調査結果	周辺環境						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
番 号	隊 員 番 号	調 査 地 点	町 名	地 点 名	開 花 日	住 宅 街	学 校 ・ 公 共 施 設	土 手	公 園 ・ 墓 地	田 ん ぼ ・ 畑	森 ・ 林	そ の 他
1	23	あ	下増田町	両毛線南田んぼの畦道	9月13日					1		
2	2	い	下増田町	田んぼ	8月29日					1		
3	4	う	二之宮町	無量壽寺	9月11日							1
4	9	え	上佐鳥町上野地区	西光寺の北側土手	9月11日			1				
5	6	お	下新田町	大利根緑地（公園南駐車場近く）	9月12日				1			
6	18	か	稲荷新田町	滝川川沿い	9月10日			1				
7	33	き	川曲町	川曲緑地	9月16日				1			
8	15	く	箱田町	自宅内の梅の木の根元 （地続きの畑）	9月14日					1		
9	32	け	箱田町	滝川沿い	9月20日			1				
10	11	こ	前箱田町	前箱田公園	9月14日	1			1			
11	24	さ	小相木町	民家の畑	9月13日	1						
12	20	し	光が丘町	光が丘2号公園	9月12日	1						
13	13	す	天川原町一丁目	天川原町中央公園	9月12日	1						
14	31	せ	天川原町二丁目	高圧電線下の畑（変電所の近く）	9月12日	1						
15	1	そ	上長磯町	田んぼ（あぜに2本）	8月26日			1		1		
16	8	た	元総社町	染谷公民館（染谷川遊歩道）	9月12日			1				
17	35	ち	石倉町	お隣の家の庭	9月14日	1						
18	35	つ	石倉町	裏の畑（自宅の北側）	9月17日					1		
19	22	て	大手町	自宅の庭	9月13日	1						
20	30	と	上泉町	上泉地区の田んぼ	9月18日					1		
21	21	な	江木町	自宅の庭	9月14日	1						
22	3	に	亀泉町内	自宅周辺	9月3日					1		
23	28	ぬ	上泉町	新田塚沼周辺田んぼの畔道	8月30日					1		
24	12	ね	住吉町	自宅前の道端	9月13日	1						
25	17	の	平和町一丁目	広瀬川「石川橋」	9月12日							1
26	16	は	樋越町	上毛電鉄沿いの田んぼ	9月16日					1		
27	27	ひ	下細井町	下細井県営住宅	9月12日	1						
28	25	ふ	総社町植野	遊歩道	9月10日			1				
29	19	へ	総社町植野	古墳の隣の畑の脇	9月12日					1		
30	10	ほ	池端町	駒寄SE西側	9月13日					1		
31	26	ま	川端町	田んぼ	8月29日					1		
32	29	み	上細井町	八幡山公園	9月14日				1			
33	7	む	富士見町時沢	近くの田のあぜ道	9月13日					1		
34	14	め	馬場町	用水路近辺	9月15日					1		
35	34	も	富士見町米野	前橋市米野地区農業集落排水施設	9月16日		1					
36	5	や	苗ヶ島町	千本桜公園東側	9月13日						1	
集計					9月11日 （平均値）	10	1	6	4	14	1	2

5 調査地点【開花日】

【凡例】

調査日	開花日
8月〇日	
9月〇日	



6 参加者の声と写真（一部抜粋）



か 稲荷新田町 滝川川沿い

・隊員番号3

1ヶ所だけ4本発芽して3輪咲きました。毎年周辺にそれなりの数が咲くのですが、まだ発芽もしてなく1ヶ所だけでびっくりしました。気候の変化によるものでしょうか？
観察をしていると季節を敏感に感じます。

・隊員番号18

雨で散歩が出来無いと、「あっ」と言う間に咲いてしまうので、日にちの確認が難しい！
色は赤と白が有り、コントラストも良い。



と 上泉町 上泉地区の田んぼ

・隊員番号30

秋晴れの青い空に真っ赤なヒガンバナが花火のように咲きみだれている。ヒガンバナ、近年西日本に咲くヒガンバナ白い花も見られる様になりました。田畑のあぜにモグラよけに植えられているのが多かったが、近年は普通に花畑の様に赤白で咲いている以前と違った趣がある。

・隊員番号15

9月13日に1輪咲いていましたが、翌日（9月14日）には5輪咲いていました。咲き出すといっきに咲くんですね。ヒガンバナで、秋をたくさん感じることが出来ました。ステキな調査だと思いました。
追伸…彼岸花は「ごんぎつね」の絵本を思い出しますネ〜…。



み 上細井町 八幡山公園

・隊員番号29

ヒガンバナは、あぜ道や土手などに突然芽を出し、数日で膝程に伸び、鮮やかな赤色の花をつけます。

子供の頃、その花がお嫁さんの日本髪にさされたべっ甲のかんざしに見え、憧れたものでした。

数日で萎えると幅1cm位の濃い緑の葉が地面を覆います。冬の間に光合成をしてたくさんのエネルギーを蓄えるのでしょう。ヒガンバナの逞しさを感じます。

・隊員番号34

今回の調査では、今まで知りもしなかった、ヒガンバナの特性を知ることができました。

また、今までは雑草という目でしか見られなかった植物に対して、新たな価値観を見出すことができました。

・隊員番号32

鬼滅の刃でも、ヒガンバナが出てくるシーンがあったけれど、実際に見ると、より素敵で魅力的な花でした。

・隊員番号9

彼岸花、その名のとおり秋の彼岸の頃、例年ですと9月17・18日の頃に咲きますが、なぜか今年は約1週間程早く咲きました。

これも異常気象の影響でしょうか。



え 上佐鳥町上野地区 西光寺の北側土手

・隊員番号22

満開：9月15日、花終ひ：9月末

20年位前に渋川の子持付近の畦道に咲き揃っていた。その一株をわが庭に植え、以来花を咲かせている。無肥料？自然にまかせ、当時より株が少なくなった感じ。

※亡夫の日記より（闘病中に）

わが墓に咲かせてみたし曼珠沙華

At my grave wishing for blooming cluster Amaryllis

開花前

満開



て 大手町 自宅の庭

・隊員番号33

最初はなかなか見つけれなかったけど、意外と近くにあったびっくりしました。これからも観察していきたいです。そして、もっと違うたくさんの花でやってみたいです。

彼岸花視野に、悲願話や……

・隊員番号23

ヒガンバナの開花日を調査するにあたり、今どき近辺に咲いている場所がわりにすんなり見つかりホットしました。名称の由来どおり「彼岸花」彼岸ごろ開花する季節を感じさせる身近なものです。

（「曼珠沙華」一まんじゅしゃげ）ともいう。その後、畦道辺り100本余り満開。

・隊員番号14

花の種類（色）は、色々あります。

特に赤は、目立って秋を感じます。

田の土手に特に多く咲いている。

田にネズミが穴をあけないように植えてあるとの事。

（水かこぼれない）



め 馬場町 用水路近辺



ま 川端町 田んぼ

・隊員番号26

8月29日、毎年定点観察をしているところに行ってみましたが、まだ開花していませんでした。

まだ早いのかと思い、水路脇を歩いていたところ、赤い塊が見えました。近づくと、ヒガンバナですすでに数輪咲いていました。周りで咲いているところはなく、その場所のみでした。何故こだけ咲いていたのでしょうか。私の勝手な推測です。

ヒガンバナの花芽の形成時期は6月下旬頃と聞いています。今年の6月末頃の最高気温は28℃～30℃と結構暑かったので、花芽の生育が進んだと思われます。

開花は平均気温が20℃～25℃と彼岸頃の気温にならないと開花できません。

今年はお盆頃雨が多く結構涼しい日が続きました。この場所は、水が結構たっぴり流れている水路脇で、ヒガンバナの鱗茎付近の地温が低くなっていると考えられます。

条件が整い、一気に咲いたのではないのでしょうか。

・隊員番号27

9/12から17日観察しました。12日は、寂しく咲き始めました。
14.15.16.17と毎日どんどん花が咲き、あっという間に満開になりました。
満開になると、凄く鮮やかな赤い色が綺麗で、とても華やかな感じがします。
そして、1週間程で終わってしまいました。
ヒガンバナが散ると、少しタ方の風が涼しく感じました。



ひ 下細井町 下細井県営住宅

・隊員番号25

満開になった土手一面に真っ赤な花びら見事でした。時に白い花を見かけました。



な 江木町 自宅の庭

・隊員番号21

庭の隅で毎年、突然？咲いたのに気付くのですが、今年は開花日をキャッチするために注意して観察していました。

天候が悪かったり涼しかったりで、小さな芽が出て（9/7）から開花（9/14）まで7日間もかかりました。彼岸を知らせてくれる花で、我家の小さな庭も秋色へと誘われます。

・隊員番号11

ヒガンバナは意外に身近にあることに気づきました。
色も昔から赤と思っていたのですが、白いのもあることを知りました。
友達が「ヒガンバナ」って本当にお彼岸に咲いたのでビックリと言っていたことを思い出し、もう少しかなと呑気にかまえていましたら、何と咲きはじめてではありませんか。季節が進んでいるのでしょうか。身近な季節をかんじております！

た 元総社町 染谷公民館（染谷川遊歩道）



7 参考資料

ヒガンバナについて

別名マンジュシャゲと呼ばれる多年草で、秋になると道端や墓地、あぜ道などに集団で花を咲かせる。
日本各地や中国に分布しており、花が終わった後に葉が出る。

種類について

ショウキズイセン：沖縄地方でのヒガンバナの代替品種。黄色い花を咲かせる。
シロバナマンジュシャゲ：ヒガンバナとショウキズイセンの交雑種だと言われており、白色の花を咲かせる。
キツネノカミソリ：オレンジ色でヒガンバナと似た花を咲かせる。花はあまり反り返らない。



8 事務局より

今年より開始した「ヒガンバナ」の調査ですが、35名の隊員の皆様からご報告をいただきました。隊員の皆様におかれましては、調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

ヒガンバナは、墓地に咲くことや毒を持つことから不吉なイメージを持たれる方もいますが、その特性を利用して動物や害虫除けのために墓地や田んぼに多く植えられたと言われていいます。ヒガンバナは季節を感じさせてくれるだけでなく、私たちの暮らしを守ってくれる花でもありますね。

今後も「みちかな季節かんじ隊」の調査に、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

「前橋市環境都市宣言」

前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しむ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。
- 一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

前橋市環境都市宣言について

本市では平成12年3月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成16年7月29日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の5つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に関心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じてPRをしていくとともに、「市民の皆様が改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和58年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として四つ目の宣言文となります。